全苗連だより

Ｖｏｌ．１５４（６月号）
令和８年６月５日
発行：全国山林種苗協同組合連合会
Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

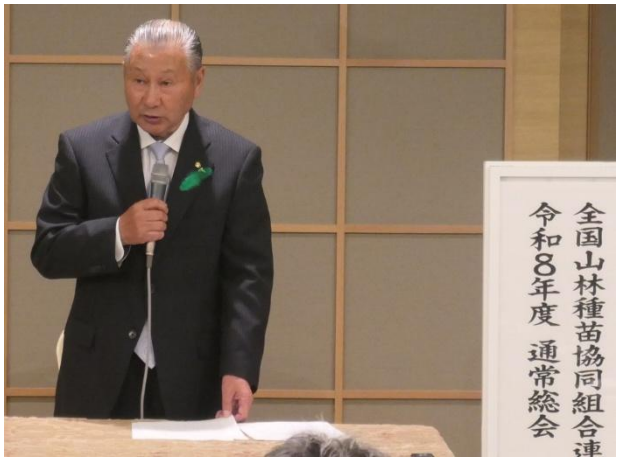
令和８年度全国山林種苗協同組合連合会通常総会が開催されました

続いて開催された理事会で、新会長に井内優氏（和歌山県山林種苗協同組合）が選任されました

令和８年度全苗連生産者の集いは秋田県で開催されます

全苗連の令和8年度通常総会が5月22日に東京都千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで開催されました。

ご来賓として林野庁から齋藤健一森林整備部長、諏訪幹夫整備課長、岡村篤憲業務課長、天田慎一造林間伐対策室長、劔持課長補佐（同室造林資材班担当）、石原課長補佐（業務課森林整備班担当）及び黒崎造林資材班種苗係長がお見えになり、林業関係の中央団体からは、全国森林組合連合会の白川常務理事、国土緑化推進機構の猪島常務理事、全国林業改良普及協会の中山専務理事、日本造林協会の赤木常務理事、日本植木協会の黒田副会長並びに全国水源林造



（写真）挨拶をする大森茂男会長

林協議会連合会の熊本常務理事に駆けつけて頂き、代表して齋藤森林整備部長（写真）から森林・林業・林産業に係る昨今の情勢等を踏まえた御祝辞を頂きました。

（写真）齋藤森林整備部長から御祝辞を頂く

議事では、大森全苗連会長の進行のもと、令和７年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案に係る議案並びに令和８年度事業計画、収支予算、賦課金額等に係る議案及び任期満了に伴う役員の選任について(下段、新役員の決定の記事参照)等所定の議案が原案どおり可決・承認されたあと、続いて９月に予定されている全苗連生産者の集い開催地の秋田県山林種苗協同組合の田村理事長から挨拶が行われました。

（写真）総会の模様(1)

議事に先立ち、大森会長からは、令和８年度は新たな全国森林計画がスタートする年となり、今後、人工造林面積が拡大することが予想されるが、生産者の高齢化、後継者不足、人手不足などの懸念材料が山積している中にあって、優良な苗木の増産体制を構築していく必要がある旨の挨拶がありました。

（写真）総会の模様(2)

最後に難波副会長から閉会の言葉があり、総会は終了しました。

新理事並びに新役員が決定しました
どうぞよろしくお願いいたします

挨拶をする 井内 優 新会長代表理事

総会後の理事会で、会長、副会長、専務理事の選任があり、井内優新会長代表理事のほか、以下のとおり新役員が選任されました。

全国山林種苗協同組合連合会役員名簿

令和８年５月 22 日

役職名	氏　　名	所　属　苗　組　名　等
会長代表理事	井内　　優	和歌山県山林種苗協同組合理事長
副会長 理　事	竹内　一秋	北海道山林種苗協同組合代表理事理事長
	難波　芳英	岡山県山林種苗協同組合理事長
	羽田　誠次	熊本県樹苗協同組合理事長
	神戸　直日	長野県山林種苗協同組合理事長
	大杉　好基	静岡県山林種苗協同組合連合会会長
専務理事	安樂　勝彦	全国山林種苗協同組合連合会（員外）
理　事	大森　茂男	岩手県山林種苗協同組合理事長
	上原　和直	福島県農林種苗農業協同組合代表理事組合長
	加茂　輝隆	富山県樹苗緑化協同組合理事長
	中西 信市郎	京都府山林種苗緑化樹組合組合長
	成瀬　要三	愛媛県山林種苗農業協同組合代表理事組合長
	栗原　　渉	福岡県樹苗農業協同組合代表理事組合長
監　事	大野　富久	東京都山林種苗緑化樹生産組合組合長
	笠本　俊也	山口県樹苗生産農業協同組合代表理事組合長

就任のご挨拶

全国山林種苗協同組合連合会会長代表理事　井内優

この度、大森茂男会長の後任として全苗連会長に就任いたしました。

まずは、これまで全苗連を力強く牽引されてきた前会長をはじめ、役員・会員の皆さまのご尽力に、心より敬意と感謝を申し上げます。

最近の苗木づくりで感じるのは人材が不足していることです。国内で人材が不足しているからには、外国人材の登用ということが非常に重要な時代になってきました。

外国人材は、現在の状況下では１年しか国内で就労できていません。折角教えた者が、すぐいなくなる状況ですので、できれば長く居て頂けるような支援等を関係省庁等に働きかけ、その人材が長く働き続けるようになると良いと考えています。

また、苗木生産者には零細な規模の者が多いので、近代的な生産を導入するに当たっても資金等多くの課題があります。会員の底上げを行って大きな力が発揮できるようにしたいと考えています。

さて、苗木の需要見通しに不安な面が出ている一方で、苗木に対する要請は益々大きくなりつつあります。普通苗(裸苗)からコンテナ苗への切り替え、特定苗木や花粉症対策苗木の供給、カラマツの増産、早生樹の供給等が求められています。

こうした中で、全苗連が果たすべき役割は、ますます重要性を増しています。会員の皆さま、地域社会、関係機関との信頼関係をさらに深め、協会の存在価値を高めたいと考えています。

そして、確実な再造林を進めるためには、優良な種苗の増産体制を築く必要があります。私たちは、これまでの経験・実績・技術に基づき、品質の保証された苗木を安定的に供給していくことに大きな使命感を持っており、連携して対応していかなければなりません。

全苗連の発展は、会員及びその組合員一人ひとりの力の結集によって成し遂げられます。

私一人の力では到底及びません。どうか皆さまのお知恵とお力をお貸しいただき、ともに未来を切り拓いてまいりましょう。

最後に、会員の皆さまのご健勝とご活躍を心より祈念し、就任のご挨拶とさせていただきます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

全苗連・苗組の行事予定

6月5日	一般社団法人全国林業改良普及協会通常総会（全国町村議員会館2F）
6月17日	全苗連関東地区協議会（東京都青梅合同庁舎）
6月22日	(独)勤労者退職金共済機構運営委員会(ニッセイ池袋ビル)
6月24日	一般社団法人林業技能向上センター総会(全国森林組合連合会中会議室)
6月26日	林業特定技能・育成就労協議会幹事会(林野庁経営課林業労働・経営対策室)
7月 7～8 日	全苗連東北・北海道地区協議会総会（秋田市）
7月24日	日本造林協会通常総会(TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター)
9月 3～4 日	第10回全苗連生産者の集い（秋田市）
11 月5～6 日	中国地区林業用種苗需給連絡協議会（鳥取県米子コンベンションセンター）
11月 17～18 日	北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会（新潟県）
11月 19～20 日	九州地区林業用種苗需給連絡協議会（熊本県）
11月23日	農林水産祭（明治神宮会館）
11 月 26～27 日	東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給連絡協議会（静岡県）
12 月 3～4 日	近畿地区林業用種苗需給連絡協議会（京都府）